

平成 27 年 活動・事業報告（平成 27 年 1 月～12 月）



■平成 27 年 1 月 15 日（木）設計部会・新春セミナー・新年互礼会

この日堀内、夏目、芝池の3氏は国土交通省住宅局 住宅生産課建築環境企画室専門官 村上春信氏に面会しNPOとして外断熱の普及のために国土交通省 太田昭宏大臣に宛てた「環境・省エネ建築推進のための建設行政についての要望」について説明した。村上専門官は前向きに聞いていただき今後の調査事業についての紹介もあった。NPOとしてはさらに国を動かす活動と共に調査事業についても適当な事業があれば取り組む考えである。

新春セミナー

- ・ 13：30 省エネ法改正とコンクリート建物の省エネについて
国土交通省住宅局住宅生産課 課長補佐 荻原 崇 氏
- ・ 14：10 集合住宅の外断熱（新築・改修）性能の違いによる燃費比較（WUFI Plus）
京都工芸繊維大学 准教授・博士(工学) 芝池 英樹
- ・ 15：10 補助金を活用した外断熱改修事例
高屋設計環境デザインルーム 高屋 利行
- ・ 15：30 マンションの外断熱改修施工技術紹介
大橋建築設計室 大橋 周二

その後新年互礼会が開催された。参加約30名

■1月20日（火）「外断熱の窓口」事業の開始について

RC 外断熱による新築・改修相談窓口「外断熱の窓口」を NPO 事務局に設置し、クライアント（マンション管理組合やエンドユーザー）からの外断熱改修や新築などの相談を事務局メンバー（及びアドバイザー資格を持った設計事務所会員（外断熱相談員））が受ける。外断熱相談員（アドバイザー資格者でスキルアップ講座終了者）は、クライアント（マンション管理組合やエンドユーザー）の立場に立ち、その利益のために公正・公平・中立な立場で相談をうける。外断熱相談員は、外断熱建築アドバイザー資格を有し、また、EAE 及び EIMA のガイドラインを理解した上で、お互いの経験をもちより、専門家集団としてのスキルアップをする。原則として、設計事務所所属又は個人の建築士、外断熱改修経験者とする。



『外断熱の窓口』（外断熱相談・情報センター）概要

- ①各社（賛助会員C）の最新カタログ、サンプルを常備・展示します。
- ②『外断熱の窓口』により、外断熱に関する需要を喚起し、外断熱市場拡大を実現します。
- ③新しいHP【製作中】及びマスコミを活用して外断熱情報の発信に努めます。
- ④「設計部会」を通して、設計事務所の外断熱に関する理解を深め、設計事務所会員の外断熱推進会議入会促進
- ⑤外断熱建築アドバイザー制度の告知・宣伝に努めます。
- ⑥外断熱工法に関するオンリーワンの資料（情報）センターの役割を担います。



■2月17日(火)省エネ改修セミナーで松本様講演

建産協主催のプレミアム省エネ改修セミナーでNPO正会員のテクノ建設サービスの松本満様が「外断熱施工手順と施工後の効果」と題して講演された。事務所+住宅ビルとエステート鶴牧4・5住宅の施工についてお話された。改修後では1日の室内温度変化が小さくなった。玄関は改修前が6℃前後であったのが改修後は10℃前後に改善された。など改修により室内温熱環境が大きく改善されたことが報告された。

■3月4日(水)第5回アドバイザー講習会（新規及び更新）

第5回アドバイザー講習会が開催された。今回は新規受講が9名 更新受講が4名 計13名であった。10:00より開催された講演は下記の通りです。

- ・外断熱の歴史と背景 NPO 常務理事 堀内正純
- ・LLH外断熱通気層システムの特徴とデテール 青塚順一氏 (株)ツツキ
- ・Sto Therm Classicの特徴 金谷 優 StoJapan(株)
- ・内断熱と外断熱 建築物理の視点から 芝池英樹先生 京都工芸繊維大学
- ・外断熱建築の設計と施工 理事 佐貴隆史氏 佐貴一級建築事務所
- ・外断熱建築の改修設計と施工 大橋周二氏 (有)大橋建築設計室
- ・外断熱建築のマネージメント 理事 松井一郎氏

講演後新規に受講された4名について考査が実施されたが全員合格した。

この段階で技術、マネージメントを含むアドバイザーは約100名となった。



■3月27日（金）塩崎恭久厚生労働大臣秘書 清水洋之氏と面会

(株)東急不動産次世代技術センターの三瓶様のご紹介で清水洋之氏と面会した。三瓶様 吉田様から健康と断熱の関連やI B E C資料の説明をし、宮坂、田村がNPOの事業について説明した。健康と断熱の関係は極めて重要であるとの観点からからは後は厚生労働省の立場から外断熱について勉強していきたい。議連勉強会などが開催されれば参加したい。との理解を得た。

■4月24日（金）理事懇談会

外断熱の窓口 設計部会 の事業が承認された。またこれに関連した外断熱の窓口開設セミナーや外断熱相談会が5/22の総会の翌日 5/23 5/24 に開催されることとなった。本事業は平成27年度の重要な取り組みで最終的に収益になることが期待される。

■5月22日（金）理事会・総会

平成27年度総会が5月22日、機械振興会館にて開催されました。

総会に先立って行われた理事会で、総会の議案、新年度役員など総会に提案される各議案、田中副理事長の退任などが承認され、総会に提案されました。

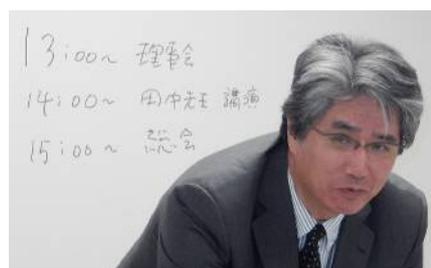
総会では宮坂理事長が議長に選任され、各議案（別紙参照）が提案され、質疑の後それぞれが満場一致で承認されました。今回の総会では「設計部会の設置」が提案され、今後の活動の柱となる「相談窓口業務」についてこの新設された設計部会、既存の木造部会そしてアドバイザーとの連携を図っていくことなどが確認されました。総会で新理事に若菜繁氏が選出されました。

また定款の一部変更では新たに東北支部所在地として仙台市が追加されました。

総会後理事会を開催し、以下の新年度役員が決定しました

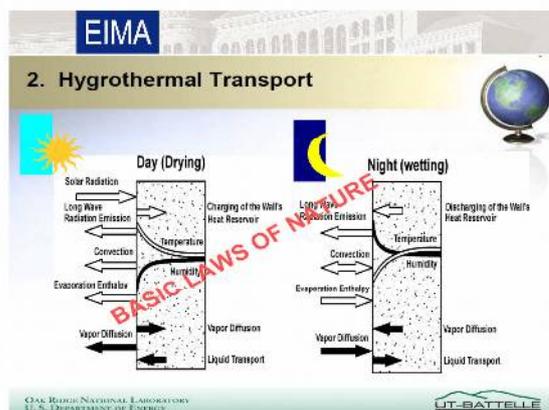
理事長 宮坂幸伸 副理事長 芝池英樹
専務理事 堀内正純 常務理事 松井一郎
事務局長 田村浩一

尚、副理事長を退任された田中辰明氏は最高顧問をお願いし、前理事長の竹川忠芳氏とお二人が最高顧問となりました。*田中辰明最高顧問は（一社）日本断熱住宅技術協会理事長に専念します。



・非定常熱湿気解析プログラム“WUFI”を外断熱推進会議「標準ソフト」に指定

外断熱推進会議（EiPC）は、欧州の外断熱協会（EAE）および米国の EIFS 産業協会（EIMA）と交流を続けています。建物での非定常熱・湿気同時移動が解析できる Windows アプリケーション“WUFI”は、フラウンホーファー建築物理研究所で開発・更新されていますが、両団体でも高く評価され外断熱建物の設計に活用されています。この度、外断熱推進会議では、高品質な外断熱建物の一層の普及を計るため、上記 Windows アプリケーション“WUFI”を「標準ソフト」に指定し、新築・改修計画プロセスの品質と効率の劇的な向上を期待します。



外断熱推進会議会員のメリット

- ①WUFI セミナー受講について会員価格を設定する。
- ②外断熱推進会議会員向け WUFI セミナーを企画・開催する。
- ③外断熱推進会議事業として WUFI を活用した計算業務の実施について検討する。
- ④外断熱アドバイザー認定講習会に、WUFI 活用に関するクラスを含め、認定外断熱アドバイザーの資質向上に努める。
- ⑤“WUFI”を活用することで、新築・改修計画プロセスの品質と効率がレベルアップできる。

■5月23日（土）外断熱の窓口セミナー

～NPO＝外断熱推進会議だからできることを始めます！



コンクリート建物の外断熱工法の採用を推進してきた NPO 法人外断熱推進会議では、「自分のマンションを外断熱改修したいけれど住人の合意が取れない！外断熱をわかり易く説明して欲しい！・・・」などの声に答えるため、『外断熱の窓口』（窓口＝NPO 事務所での相談は無料！）を開設しました。『外断熱の窓口』は、専門家が相談者（ユーザー、住人）の立場でお答えします！本セミナーでは下記の講演が行なわれた。

参加者は約 20 人。

□基調講演：「外断熱の窓口とは」特定非営利活動法人外断熱推進会議 堀内正純

NPO＝外断熱推進会議だからできることを始めます！設立以来、コンクリート建物の外断熱化をすすめてきた外断熱推進会議が大規模修繕工事における外断熱工法の採用にあたってのお手伝いを始めました。また、コンクリート住宅の外断熱改修や新築のご相談も受けます。

□講演1：「外断熱とは～その性能評価」京都工芸繊維大学准教授 芝池英樹博士（工学）

外断熱建物（新築・改修）の断熱性能や湿気の測定を数多く手がけ、学会発表をしている芝池博士から湿式外断熱(EIFS)で大規模改修された分譲集合住宅「西京極大門ハイツ」（京都市右京区）の熱・湿気性状の実測結果についての報告がなされた。なお、この物件は平成28年1月に平成27年度（第13回）京都環境賞を受賞した。

□講演2：「外断熱改修～管理組合との合意形成及び施工上の注意」大橋建築設計室大橋周二

2010年からの6年間で14棟のマンション大規模修繕工事（うち4棟は一般改修）の外断熱改修設計監理をなぜやらせていただけたのか？管理組合との出会いから、大規模修繕工事の改修設計監理の受注。管理組合が「一般改修」又は「外断熱改修」を選択した理由など。詳しく講演された。

■6月4日（木）関西支部セミナー

第1部でお話をいただく、株式会社コスミック・ガーデンの藤井好雄社長は、施主様と共に真に満足いく家創りをしたいという思いから平成9年に工務店を設立され、安心・安全・健康・省エネ・快適・資産価値が高いことを幸せな暮らしの基本に、「家族の命を守り、健康を育む家」の具現化のために「家の性能」の追及をされておられます。今回は、「高気密高断熱住宅の消費エネルギー実績の分析と周辺の施工の可否について」お話をさせて頂きました。社長は、化学物質汚染（シックハウス）に対応する研究・各種建材の開発等もされておます。

第2部では、日本ERI株式会社 省エネ企画推進部 晝場(ひるば)貴之氏より「省エネ義務化から考えるこれからの「省エネ」動向」と題して、「平成25年省エネ基準」の改正内容、住宅性能評価・長期優良住宅の省エネ性能基準の改正内容から省エネ基準義務化になったらどうなるのか、欧米の制度概要、総合的な環境性能に関する評価等についての話しをして頂きました。

■6月5日（金）東北支部会議

宮坂理事長、堀内専務理事、佐貴理事、支部会員以上8名の参加で東北支部会議が開催された。

宮坂理事長から、先日のNPOの総会の報告がありました。

参加者から本部と支部の連携がうまく機能していない面があり、現在の支部活動を継続できないとの意見があり、支部活動については、事務所を佐貴設計事務所（横手市）に移して活動する。

今後の東北支部活動は新しい体制ができるまで本部と連携して東北においてセミナー等を開催することを決めました。

■6月24日（水）京都・外断熱セミナー

外断熱改修セミナーが京都市大学まち交流センターで開催された。講演では大橋建築設計室の大橋様より「管理組合との合意形成及び施工上の注意事項」が京都工芸繊維大学の芝池先生からは「外断熱とは～その性能評価」が行なわれ、講演後質疑応答もあり活発な意見交換がなされた。15名の参加であった。またこの席でSto Japanの佐々木社長と高本コーポレーションの高本社長より自社の工法について説明がありました。

■7月8日（水）札幌・外断熱セミナー

講演1. 外断熱のすすめ～世界と日本の事例 芝池英樹先生

講演2. 外断熱改修のすすめ～欧州外断熱ガイドラインと札幌の事例 大橋周二 北海道支部事務局長

講演3. エルンスト・マイの集合住宅と同時代の建築家 田中辰明先生
50名で盛会であった。

■7月23日(木) 木造部会「キックオフ会議」

芝池先生よりPPTにて「北米の事情」と題して講演があった。

田中先生よりPPTにて「木質材料と建築」と題して講演があった。

会員の技術交流会として

- ①坂口様より外貼り断熱の施工実績について別紙により説明があった。
- ②改正様より関西より四国、中国が断熱住宅は活発であるとのこと。
また、インテリアイベント2.0の紹介があった。
- ③小林様より木造住宅の実績から消費者はまだまだ知らないことが多く正しい情報を出していくことが重要との話がありました。
- ④高本様よりEAEの日本版が必要では、WUFIなどで評価することも大事ではとの提案があった。
意見交換の後、木造部会の目的については参加者全員了解した。会費についても月額1000円は了解した。(会計年度は9月～翌年の9月までの12ヶ月とする) 次回の開催時期とテーマは事務局が提案し連絡する。木造部会の運営規則については事務局が立案し次回提案する。翌日の幹事の打ち合わせで、S造は「設計部会」で対象とする、とのことから「木造部会」のままとした。

■7月24日(金) 設計部会

- 1.会議開始にあたり、出席者全員の自己紹介を行う
- 2.宮坂幸伸理事長の開会挨拶に続き、設計部会担当主査大橋様より、設計部会設立の趣旨説明、設計部会運営規則(案)について報告を行う
- 3.話題提供として、(株)高本コーポレーション高本修一様より、今年1月に韓国国内で発生した外断熱マンションの火災について報告をいただく。この報告では、火災の発生原因、火災が広がった要因説明の他、韓国国内での報道、今後の規制強化などの動きについて紹介されました
- 4.休憩後、今後の設計部会運営、運営規則(案)について意見交換を行う
 - ①すでに設置されている外断熱の「相談窓口」との関係について質問があり、この件については、活動目的3で明記した通り「設計部会としては、相談窓口の活動に協力する」という立場であることを明確にして、「相談窓口」の活動について議論は行わないことを確認しました。
 - ②設計部会例会等の参加資格は会員とし、今後の運営では非会員も参加できる「公開セミナー」企画(有料)を開催し、広く参加案内し、会員の入会を促進する。
 - ③運営規則(案)については、会員資格、会員の入退会の承認、事務局の明記について修正意見がありました。
 - ④役員については、担当理事に松井一郎理事とし、芝池英樹副理事長は「技術顧問」としてその役割を担っていただくこととしました。
 - ⑤第1回例会では下記の通り役員について提案しご承認をいただきました。
部会長に大橋周二(北海道)、運営委員に、佐貴隆史様(秋田)、金子勲様(東京)、小島隆様(東京)、島田透様(埼玉)、東松京祐様(大阪)
*尚、小島様、島田様は欠席のため次回までに部会長より就任を依頼します
前記の通り、役員会には、技術顧問として芝池英樹副理事長、担当理事として松井一郎理事に参加をいただきます。尚、事務局については、外断熱推進会議田村事務局長、事務局員の北市様、太田様にご協力をいただくことを確認しました。。

⑥今後の活動について

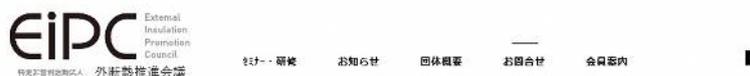
現在外断熱推進会議として予定している下記講習会、視察の参加を募ります

- ・「外断熱アドバイザー講習会」8/27の開催協力
 - ・「第10回北米パッシブハウス会議」9/8成田出発、会議は9/11～9/13シカゴ市で開催
 - ・「ドイツ建築物理と外断熱の旅」（10/5～14）、9/12ミラノにてEAE第3回外断熱会議に参加
- 今後の運営委員会にて、設計部会としての活動を具体化します。

北海道支部では12/5第5回北海道外断熱セミナーを開催します、前記の米国、ドイツ視察についての報告セミナーの開催など、全国各地での開催の検討を行うことを提案しました。

■8月5日（水）新ホームページが公開されました

これまでのHPを更に見易くまた自由に投稿できるページを新設し、改めてNPO HPがスタートしました。外断熱の窓口などを紹介しています。<http://sotoeco.jp/>



■8月25日（火）第3回「外断熱講座」北海道支部

1. 改正省エネ法について 平川秀樹さん ダウ化工株式会社技術開発本部主任技術員
2. 北米の外断熱事情について ～米国で施行されている連続断熱と工法別特徴

芝池英樹 外断熱推進会議副理事長/京都工芸繊維大学准教授。博士（工学）の講演が開催されました。



■8月27日（木）第六回 アドバイザー認定講習及び更新講習

第六回 アドバイザー認定講習及び更新講習が開催されました。今回は新規受講が5名、更新が5名計10名の参加でした。芝池先生 大橋様 佐貫様 田村の講義のあと新規の方には考査が実施されました。5名全員合格しIDカードが発行されました。この段階でアドバイザー資格を持った会員は約110名となります。設計部会とも連携しながら重要な役割が課せられます。

■8月28日（金）施工業者及びメーカーとの懇談会

21名の出席で懇談会が開催されました。出席者からの意見や要望、NPOのあり方や問題点が指摘されました。

■8月29日（土）設計部会・木造部会 開催

13:00から設計部会 15:00から木造部会が開催されました。

この席で入会申込書や請求書 収支報告書への記載方法が承認されました。

■9月29日（火）北海道支部研修会

「最新韓国・米国の外断熱・パッシブハウス情報の紹介」 9月8日から14日まで、米国シカゴにおいてシカゴ周辺の建築視察及び第10回 PHUS 北米パッシブハウス会議に参加した大橋事務局長から報告がありました。正式な報告会は、10月4日からのドイツ・スイス・イタリア第13回「建築物理と外断熱の旅」の報告とあわせて12月5日の北海道外断熱セミナーにて行います。また、昨年12月、大橋事務局長、芝池先生とソウルで外断熱建物の調査を行いました。その時ソウルの訪問先をコーディネートいただいた高本社長から「韓国での外断熱建物の火災とその後」について情報提供を受けました。

内 容：「最新韓国・米国の外断熱・パッシブハウス情報の紹介」

18:00 開会の挨拶 藤本北海道支部長

18:10 「韓国での外断熱建物の火災とその後」 高本コーポレーション

18:40 意見交換～湿式外断熱建物の防火対策 堀内正純

19:00 「第10回北米パッシブハウス会議の概要報告」～パッシブハウスとシカゴ周辺の建築 大橋周二

■10月3日（土）たま・まちせん10周年記念イベントに共催

特別展示では、「すまい・まちづくり」関連団体が協力しました。参加団体は(一社)多摩循環型エネルギー協会、多摩マンション管理士会、多摩ニュータウン学会、東京多摩プロバスクラブ、特定非営利活動法人外断熱推進会議、レガシー研究などで、特定非営利活動法人外断熱推進会議は会員会社6社のブースが設置され会場を訪れた方に会社の技術が紹介されました。後援の多摩市からは、都市整備部・環境部の展示もされました。ミニ講座として

パートⅠ：11:00～12:00 主催：(一社)多摩循環型エネルギー協会が「聞かなきゃ損！ おトクな電気の使い方講座」のテーマで講師：今井 雅晴 氏（株式会社コスモウェーブ代表）が講演されました。

パートⅡ：12:15～13:15 では 主催：外断熱推進会議主催でテーマ「建物長寿命化と省エネにすべてのマンションで外断熱改修を！」と題して 1.札幌・千歳の外断熱改修建物10棟の紹介 2.管理組合の合意を得るまで 3.外断熱改修工事の内容が講師：大橋 周二 氏（一級建築士）外断熱推進会議設計部会部会長・北海道支部事務局長、(一社)北海道建築技術協会企画委員長・外断熱研究会副委員長 により講演されました。

参加者は約20名。



■10月4日（日）木造部会 第1回「見学会」

木造部会の初めての見学会として、部会員の技術交流の一助となり、あるいは糸口として戴くべく、以下の要領で見学会が企画された。「真空断熱+ウレタン現場発泡」の現場（栃木県佐野市）では、木軸中空層の充填効率を画期的に向上させてくれる工法を見学させて戴きました。「パッシブハウスモデルハウス」（さいたま市見沼区）は H21-23 年度国土交通省先導技術開発助成を受けた物件で、今も建物各部の熱・湿気性状を連続モニターし、性能検証が続けられています。

工事物件…真空断熱+ウレタン現場発泡での住宅施工現場、（株）MX エンジニアリング

完成物件…パッシブハウスモデルハウス、ハイシマ工業（株）、H21-23 年度国土交通省先導技術開発助成物件 参加者7名

■10月5日（月）～10月14日（水）

第13回ドイツ・スイス・イタリア『建築物理と外断熱の旅』

田中辰明博士/芝池英樹博士と行く～エルンスト・マイ（Ernst May）の集合住宅と外断熱施工調査、E A E 欧州外断熱会議 お茶の水女子大学名誉教授・田中辰明博士、京都工芸繊維大学・芝池英樹博士と行くドイツ・スイス・イタリア『建築物理と外断熱の旅』は、ヴァイマル共和国時代にフランクフルト・アム・マイン（Frankfurt/ M. ）に多くの団地（ジードルング）を手掛けた建築家で都市計画家でもあったエルンスト・マイ（Ernst May）の集合住宅、足跡をたどりました。

また、フランクフルト・ハイデルベルグで外断熱施工現場調査、世界最大の外断熱メーカーSto AG 本社、イタリア・ミラノで開催されている万博見学及び第三回 EAE 欧州外断熱会議に出席しました。

視察訪問期間：2015 年10月5日（月）～14日（水）（10日間）

参加 人数：16名



E A E（欧州外断熱協会） パスカー専務理事来日講演開催！

日程 2016年5月15日（日）～21日（土）

5月15日（日） 来日 羽田経由～札幌市

5月16日（月） 日（E i PC）欧（E A E）外断熱フォーラム イン 札幌

5月17日（火） 移動日（札幌及び近郊の外断熱建物視察） 東京へ

5月18日（水） 関係省庁及び環境省エネ住宅議連にて講演（予定）

5月19日(木) 日(E i PC) 欧(EAE) 外断熱フォーラム イン 東京

5月20日(金) 午前中、設計部会との意見交換会
午後、外断熱推進会議「通常総会」

5月21日(土) 帰国

■10月11日(日) 北海道支部 エコセミナー講演

「知って良かった！健康・快適・省エネ リフォーム・リノベーション」セミナー

省エネエコメッセ 2015in 環境プラザにて「マンションの省エネ～大規模改修編」と題して藤本哲哉支部長(NPO 法人外断熱推進会議 理事・北海道支部支部長、北海道地域計画・建築研究所)が講演されました。

■10月31日(土) 日本ヒートアイランド学会 第18回プライムセミナー 芝池先生

「外断熱の効果と評価」室内温熱快適性や防露性の向上という観点とは少し離れて、都市部屋外気候、とりわけ夜間の蒸し暑さを緩和するため、ヒートアイランド対策としても外断熱工法が有効に活用出来るということ、広く一般市民や他分野の専門家にアピールします。外断熱工法はヒートアイランド緩和方策としては一応挙げられては居ますが、残念ながらその効果は今まで十分に検証されることなく、特に昼間に吸熱した日射量を夜間にまで蓄熱して放熱することが少なく、夜間外気を寒冷に保つ効果については、未だ十分に理解されていないのが現状です。加えて、日本ヒートアイランド学会の企画関係者からは、「なぜ我が国で外断熱が普及しないのか?」「外断熱で新築、あるいは改修すると、どの程度コストアップになるか?」といった質問が寄せられています。セミナーには、日本ヒートアイランド学会の平野聡会長(産業技術総合研究所エネルギー技術研究部門)以下、我が国の環境政策にも影響力のある都市気候の専門家も多数参加されますので、外断熱工法の地道な良さを深く理解戴くには絶好のチャンスです。なお、大阪 HITEC では認証制度が発足し申請により外断熱工法は省エネ住宅と認められることになりました。

■11月27日(金) 第36回「NPO 外断熱推進会議 関西セミナー」

ドイツエネルギー機関(DENA)は、ドイツ国内の省エネルギー・再生可能エネルギーに関する研究調査をベースに様々な企業・行政に対するコンサルティングや情報提供を行っている機関です。国内にとどまらず、ロシア・アジアに対してもノウハウを提供して活躍を続けています。日本でも、ドイツ並びに欧州の成功事例を紹介し持続可能な社会づくりのために日本エネルギー機関(JENA)が設立されています。

今回は日本エネルギー機関の中谷氏とドイツで導入されている建物の省エネルギーシミュレーション「エネルギーパス」の普及活動をされている日本 ERI 株式会社の晝場氏から世界の省エネルギー建築の状況や日本で普及情報を、そしてエディフィス省エネテック株式会社より湿度学習換気扇と部屋間サーキュレーターの説明をお聞きします。2020年より省エネルギー基準の義務化が本格稼働すると言われている現状で、私たちが模索する省エネルギー建築・住宅の方向性を見出すいい機会です。

■12月5日(土) 第五回北海道外断熱セミナー

～第一部(13:30~15:20) パッシブハウス・新世代ゼロエネルギーハウス(ZEH)

講演1 「第10回北米パッシブハウス会議(NAPHC2015) 概要ほか」

京都工芸繊維大学准教授芝池英樹(博士(工学))/外断熱推進会議副理事長

事例紹介「パッシブハウスに適した熱交換換気システム」 ハイシマ工業株式会社

事例紹介「パッシブハウスに適した木製サッシ」 株式会社 TRANS(トランス)

特別報告「ドイツにおけるパッシブハウスのいま」 クーラーアンドレア(在ミュンヘン)

～ 第二部(15:30~17:30) 北海道と世界の外断熱のいま 2015年最新情報

事例紹介「小樽に建設された外断熱・介護サービス付き高齢者施設について」

株式会社日本レーベン企画部設計担当部長梅原洋一

講演2 「分譲マンション外断熱改修の詳細」～海外と札幌での事例から

特定非営利活動法人外断熱推進会議北海道支部事務局長大橋周二

講演3 「世界の外断熱/ドイツ・スイス・イタリア「建築物理と外断熱の旅」報告」

特定非営利活動法人外断熱推進会議専務理事堀内正純

参加者 30名



■12月17日(木) 2015 下半期 外断熱研修会

外断熱推進会議では本年度、木造部会、設計部会を発足させ、欧米や国内の木造及びRC造の最新技術の紹介、会員間の技術情報の共有、学習・研修の場を設けることにいたしました。

その一つとして9月には北米で開催された「第10回北米パッシブハウス会議(NAPHC2015)」に参加、10月にはドイツ・イタリア「建築物理と外断熱の旅」が実施されました。今回の外断熱研修会では、欧米の木造・パッシブハウス、RC造・外断熱に関する最新情報を紹介いたします。

～第一部 パッシブハウス・新世代ゼロエネルギーハウス(ZEH)

10:30 講演1(90分) 京都工芸繊維大学准教授 芝池 英樹(博士(工学))「第10回北米パッシブハウス会議(NAPHC2015) 概要 外断熱(連続断熱)・湿気コントロールの重要性」

13:00 講演2(60分) 京都工芸繊維大学准教授 芝池 英樹(博士(工学))「外断熱推進会議「推奨ソフト」“WUFI(ヴーフィ)が出来ること」

～第二部 日本と世界の外断熱のいま 2015年最新情報

14:00 講演3(40分) 外断熱推進会議専務理事 堀内 正純「世界の外断熱のいま/ドイツ・スイス・イタリア「建築物理と外断熱の旅」報告」

14:40 講演4(50分) お茶の水女子大学名誉教授 田中辰明(博士(工学))「第三回EAE欧州外断熱フォーラム報告～EAEパスカー専務理事来日へ」

15:40 講演5(60分) 外断熱推進会議北海道支部事務局長 大橋 周二「分譲マンション外断熱改修の詳細解説」外断熱改修設計にあたって重要なこと＝海外と札幌での事例から

参加者 20名

■12月18日(金) 木造部会 設計部会 理事懇談会

10:00より理事懇談会 13:00より木造部会 15:00より設計部会 17:00より忘年会が開催された。木造部会 設計部会は今後専門的な分野で活動していくこととなった。